

平成 30 年 度

# 事 業 計 画

平成 30 年 度 収 支 予 算

公益財団法人 九州生産性本部

## 【1】平成30年度の事業方針

現在、我が国は少子高齢化、人口減少など多くの困難な課題を抱えており、今後も経済成長を実現するためには、イノベーションを追求し付加価値の増大を軸とした生産性改革に取り組む必要がある。

労働生産性を国際比較すると2016年の日本の時間当たり労働生産性はOECD加盟35カ国中20位と低位にとどまっており、2000年頃からはほぼ横ばいで推移している。

生産性を向上させるためには、IoTやAIなどの活用により製造業の生産性向上を図るとともに、日本経済の7割（GDP・雇用）を占め、高い成長余力を持つサービス産業の生産性を向上させていく必要がある。

生産性は周知のとおり、「産出／投入」であるが、これまでは資源投入量等の削減やコストダウンを目指す、分母改善への取り組みに力が注がれがちであった。これからは分子の付加価値最大化に向けた取り組みをより強化しなければならない。

また、働き方改革実現のためにも労働生産性の向上が必要不可欠であり、国民一人一人が持てる潜在力を最大限に発揮し、付加価値の増大を軸とした生産性向上を実現させながら成長と分配の好循環を創り出していかなければならない。

政府の経済政策の中心に据えられ、働き方改革・生産性向上に対する関心が高まる中、九州生産性本部の事業展開においては、「雇用の維持・拡大」「労使の協力・協議」「成果の公正配分」を謳う生産性運動の三原則とともに、労・使・学の三者構成という特徴を生かしながら、生産性は進歩の精神であり、現にあるものの絶えざる改良の精神であるという生産性運動の原点を踏まえ、経営イノベーションと人材開発を通じて九州地域の生産性向上に貢献していきたい。

なかでも、創設60周年を迎える九州生産性大学については、九州一の歴史と規模を誇るマネジメントスクールであることを、産業界に対し改めて訴えるとともに

本事業の目的とする「企業革新を推進し、新たな未来を拓くリーダーの養成」を目指して取り組みたい。

加えて、経営教育事業については、多種多様な経営セミナー・研究会を通じて「経営力・革新力・現場力等の組織能力強化と価値ある人材への成長支援」、労使問題・労働問題事業については「個が活かされる環境作りと労使の信頼と協力関係の構築」、企業内教育事業については「個別企業のニーズに応じた経営支援と人材育成支援」を狙いとして、各事業を推進していきたい。

また、これらの事業展開に当たっては、全国生産性本部のネットワークや関連組織であるサービス産業生産性協議会・日本経営品質協議会・日本インダストリアル・エンジニアリング（IE）協会等との連携を図りながら、生産性向上に関する九州No.1のナレッジ（知識・情報・経験）交流、発信拠点を目指して、九州地域経済の発展に貢献する公益財団としての役割と責任を果たしていきたい。

## 【2】事業の概要

上記の方針にそって、主に下記の事業を新規、および継続実施する。

### I. 社会関係事業〔公益目的事業1〕

#### 1. 社会問題事業

- (1) 2018年度西日本生産性会議（神戸市）
- (2) 九州労使フォーラム

#### 2. 労使問題事業

- (1) 労使会議フォーラム
- (2) 視察・見学会
- (3) 各地区労使会議交流会

#### 3. 労働問題事業

- (1) 九労生大会
- (2) 九労生フォーラム
- (3) 労組幹部朝食懇談会（ユニオン・モーニング）
- (4) 労組幹部のための労働法セミナー
- (5) 全国労組生産性中央討論集会（東京）

### II. 生産性大学事業〔公益目的事業2-1〕

#### 1. 基本事項

昭和32年九州産業界の代表的経営者で編成された“第1次九州トップマネジメント訪米視察団”の帰国後の提唱により昭和34年に創設。以来、九州ナンバー1の歴史と実績を誇るマネジメントスクールとして、本年度で創設60周年を迎えることとなった。今後とも九州産業人の経営力開発機関、基幹人材養成機関としての役割を果たしていきたい。

## 2. 企画・内容

- (1) 九州産業界のトップで構成する理事会、及び実務家で構成する運営委員会のご協力をいただきながら、産業界のニーズに合致した体系的カリキュラムを編成し、効果的な講座運営に当たりたい。
- (2) 講師陣については、第一線で活躍中の大学教授、経営コンサルタント、弁護士、会計士をはじめ各界の専門家を招聘するとともに、受講者によるアンケート評価を参考にしながら、常に高い受講者満足を提供できる質の高い講師陣を編成したい。
- (3) 受講内容の整理・把握と知識の定着のため、また自社の課題解決や自身の自己革新へ繋げていただくため、修了レポートの提出を義務付けるとともに、コース毎に最優秀賞、優秀賞を選出し修了式にて表彰を行う。
- (4) 受講者同士の相互啓発・交流を深めるため、コースにより合宿研修を実施するほか名刺交換会や交流会の場を数多く設ける。また、本部ホームページ上に開設したフェイスブックの活用により異業種交流の輪を広げるとともに、12月修了課程において修了記念パーティを開催する。
- (5) 参加者の学習効果を高めるために全てのコースに定員を設ける。また、特に受講者が多いマネジメント能力開発コースと主任・係長育成コースについてはそれぞれ2教室で参加者を募集する。ソリューション営業強化コースはここ数年受講者が減少傾向にあったことから一旦休止し、今期は全11コース13教室で実施する。  
59期はコースの収容を超えるお申込みをいただき、一部のコースで参加をお断りする事態となったため、今期はコース定員を明示し申込方法もWEB申込に一本化する。併せてWEB予約を受け付けることとし、コース毎の申込状況もWEB上にて公開する。
- (6) 創設60周年を記念して、4月開講課程に派遣企業・労組のみならず、広く会員企業・労組もご招待したい。併せてこれまで本経営講座をご支援いただいた方々へ感謝の意を表するため、60周年記念パーティを開催したい。

### 3. コース編成

- (1) トップを囲む懇談会  
～変化に対応し、新たな時代を切り拓く経営のために～
- (2) 経営戦略コース  
～戦略的思考により、革新と成長を支える「経営幹部」の養成～
- (3) マネジメント能力開発コース  
～変革期の企業革新を担う「管理者」の養成～
- (4) 主任・係長育成コース  
～職場の第一線で活躍するリーダーの育成～
- (5) 人事革新コース  
～働き方改革を推進する組織づくり・人づくり～
- (6) 経営財務コース  
～経営管理に必須の財務・会計の体系的理解と応用～
- (7) コストダウン実践コース  
～徹底したコストダウンによる競争力の強化～
- (8) マーケティング戦略コース  
～顧客と市場を創造するマーケティング実践力を磨く～
- (9) ビジネス法務コース  
～トラブルを未然に防ぐ法律知識と実務対応を学ぶ～
- (10) キャリアデザインコース【女性活躍支援プログラム】  
～自分の可能性の枠を拡げ、リーダーとしての「意識・行動」変革につなげる～
- (11) U-29 未来キャリアコース  
～20代で身につけておきたいビジネス思考、高い視座&スキル～

### Ⅲ. 国際交流事業〔公益目的事業2-2〕

#### 1. 海外視察研修団派遣

##### (1) 九州生産性アメリカ視察研修団

九州生産性大学の創設60周年記念事業として、アメリカのビジネススクールの最新の動向等を調査する視察団として、派遣したい。

##### (2) 日本生産性本部グローバル事業への参加勧誘

### Ⅳ. 経営教育事業〔公益目的事業3〕

激しい経営環境の変化に柔軟に対応できるよう、基礎能力の習得、問題解決力及び創造力豊かな人材の養成を目指した各種階層別教育並びに経営機能別に最新かつ有用な情報を提供して経営革新・生産性向上へ繋げる経営課題別教育を開催する。

本年度は、新規17本を含めて、階層別教育に30種類・47本、課題別教育69種類・72本を計画している。

#### 1. 階層別教育

[管理者・監督者・リーダー]

- (1) 上級管理者セミナー〔年2回〕
- (2) 管理者基礎セミナー〔年4回〕
- (3) 主任・係長基礎講座〔年5回〕
- (4) リーダー能力開発講座〔年4回〕
- (5) リーダーシップ強化セミナー〔年2回〕
- (6) 部下のやる気を引き出す「ほめ方・叱り方」講座
- (7) メンバーの心を動かすコミュニケーションセミナー
- (8) パワハラと誤解されない部下指導術セミナー

(9) チームビルディングセミナー〔2回シリーズ〕

(10) メンタルヘルスラインケアセミナー（新規）

メンタルヘルス不全の基礎知識から部下の不調の早期発見・対処法、不全者を出さないためのケアや復職者への配慮と支援の仕方までを実践的に解説する。

(11) 管理者のためのコーチングセミナー（新規）

質問力や双方向コミュニケーション力の習得と目標管理の実現に向け、部下育成・指導技術を向上させるコーチングの基本とスキルについて解説する。

〔中堅社員・若手社員〕

(12) 女性リーダー養成講座〔年2回〕

(13) 若き社員自己活性化セミナー〔年2回〕

(14) 接遇・応対指導力アップセミナー

(15) フレッシュマンセミナー〔年3回〕

(16) 新入社員フォローアップセミナー

〔ビジネススキル〕

(17) 報・連・相スキルアップセミナー

(18) 5ステップで学ぶ『事務ミスゼロ』の仕事術

(19) 組織を活性化・変革する「ファシリテーション」セミナー

(20) 秘書業務の基本（心構え）と実践

(21) 企画書・提案書の作り方とプレゼンの極意

(22) 『気がきく』人のコミュニケーション術セミナー

(23) レジリエンストレーニングセミナー

(24) 業務を見える化・標準化する事務マニュアル作成の進め方と活用の仕方

(25) 働き方を変えるタイムマネジメントセミナー



- (26) 実践！相手の心をつかむ話し方とプレゼンテーション
- (27) 仕事の生産性を高めるための「段取り力」強化講座（新規）  
限られた時間の中で最大限のパフォーマンスを生み出すために必要とされる「段取り力」強化について基本から応用までを解説する。
- (28) シニア社員モチベーションアップセミナー（新規）  
役職定年や定年後再雇用等でビジネス人生の転換期を迎えるシニア社員を対象に、経験を活かした働き方や目標について解説して、ありたい姿を考える機会を提供する。
- (29) 「紙1枚」で思考を整理し伝える技術（新規）  
思考を整理し、相手に分かりやすく伝える技術について、講師提唱の「1枚」フレームワークの書き方・使い方を解説する。
- (30) 「ビジネス雑談力」を高める極意（新規）  
仕事をスムーズに進めていく上で重要な雑談力の磨き方について、演習重視のプログラムで実践的に解説する。

## 2. 課題別教育

### 〔経営トップ・経営企画分野〕

- (1) 九州企業の経営トップを囲む朝食懇談会
- (2) 取締役・執行役員コース（日本生産性本部との共催）
- (3) 経営戦略研究会（新規）  
経営戦略に関わる様々なテーマに基づいた取組み事例を研究するとともに、他社との交流を通じて自社のコアコンピタンスを見つめ直し、競争力強化につなげる機会とする。

### 〔人事・労務分野〕

- (4) 労働法実務講座〔年2回〕
- (5) 社員とのトラブルに対する法的対応策セミナー
- (6) 労働時間の適正管理・重要ポイントと臨検監督への対応
- (7) 人事戦略基礎セミナー

- (8) 賃金実務の基礎と改定のポイント
- (9) 60歳以降の継続雇用における賃金・労働条件の設計
- (10) 採用活動、内定等に関する法律知識と実務ポイント
- (11) 問題社員を出さないための効果的な採用・面接の進め方
- (12) 人事担当者の基本知識
- (13) 役割評価・役割給構築セミナー
- (14) 残業ゼロの労務管理のポイントと仕組みづくり
- (15) 欲しい人材を獲得するための採用戦略と魅力が伝わる自社PRのポイント
- (16) 従業員の懲戒処分をめぐる法律知識と実務対応のポイント（新規）  
懲戒処分の基本ルールから、職場での従業員の不正行為や職場内のトラブルに懲戒処分を科す際の拠り所となる裁判事例について解説する。
- (17) 1日で学ぶ給与計算の基礎実務（新規）  
間違いのない給与計算を行うための基礎知識と、関連する法令及び給与計算の実務を、演習問題を交え分りやすく解説する。

[財務・経理・監査分野]

- (18) 九州監査業務研究会
- (19) 監査役・監査(等)委員・スタッフのための監査役監査の法と実務
- (20) 経理部長クラブ
- (21) 役員・幹部のための「1日で学ぶ決算書の読み方・活かし方」
- (22) 決算書がスラスラわかる「財務3表一体理解法」
- (23) 中期経営計画の策定と予算編成の実務
- (24) 法人税申告書の作成実務と決算期の税務
- (25) 経理リーダーに必須の4つの力
- (26) 経理部門の事務ミス削減・事務改善のすすめ方
- (27) 新任経理担当者のための実践簿記・会計の基礎実務

- (28) 管理会計の基礎と実践
- (29) 原価計算マスター講座〔2回シリーズ〕
- (30) <九州>内部監査実務研究会
- (31) 内部監査基礎実務演習講座（新規）  
監査計画の策定から報告書の作成など、内部監査人に必要な監査業務の一連のプロセスを、講義と具体的な事例を用いた集中演習形式で解説する。
- (32) 不正経理の業種別・手口別分類と内部監査手続・内部統制構築（新規）  
企業の不正経理 100 事例を類型化・分析し、共通的に発生する手口への対応について、内部監査手続きと内部統制構築の視点で具体的に解説する。
- (33) 上手な決算書の説明の仕方と重要ポイント（新規）  
決算書は正確に作成することはもちろん、社内外に分りやすく説明することが重要である。上手な説明の仕方についてポイントを分りやすく解説する。
- (34) Excel を活用した経理資料の効率的・効果的な作り方（新規）  
Excel を活用して、経理資料を迅速に見やすく作成するためのテクニックを、基本から実際の作成方法まで分りやすく解説する。

〔総務・法務分野〕

- (35) 新任役員及び役員スタッフのための法律知識セミナー
- (36) 総務担当者のための法律知識セミナー
- (37) トラブルを未然に防ぐ契約書の作り方、読み方
- (38) 従業員による自動車事故の企業責任と予防対策
- (39) 「税務調査」対応策セミナー
- (40) 人事・労務・福利厚生 of 税務知識セミナー
- (41) 労働・社会保険の必須知識と実務のポイント
- (42) 定年前の社員にやさしく伝える年金・公的保険の基本知識
- (43) 会社法実務セミナー

- (44) 1日ですすめる年末調整の基本実務
- (45) 事務オフィスのための5S実践セミナー
- (46) 民法（債権法）改正と実務への影響（新規）  
債権法改正に伴う全体像の説明や、2020年施行に向けた対応スケジュール、企業実務に与える影響について分かりやすく解説する。
- (47) 働き方改革「同一労働同一賃金・労働時間法制」への法的対応（新規）  
「同一労働同一賃金」の関連労働法改正の動きの中で、人事労務管理体制の整備も含め、法的にどのように対応すればよいかを解説する。
- (48) 企業不祥事例から考えるコンプライアンスの実務（新規）  
現場の社員が納得した上で行動を改めるコンプライアンスの考え方や説明の仕方を、具体的なケースを踏まえて実践的に解説する。

〔広報・教育分野〕

- (49) 人材開発研究会
- (50) 企業広報研究会
- (51) 新人・若手の成長を促す！OJT指導力強化セミナー
- (52) 社内講師に求められる効果的な研修のすすめ方

〔営業・マーケティング分野〕

- (53) 新任営業担当者セミナー
- (54) 「提案営業」実践セミナー
- (55) 女性営業社員セミナー
- (56) 「高いなあ」と言われても売れる営業のしかけのつくり方
- (57) 営業担当者のための価格交渉の上手な進め方
- (58) トップ営業マンに変身するための新規開拓の極意

〔生産・物流分野〕

- (59) 第一線現場長セミナー〔年2回〕
- (60) 製造現場の「見える化」の具体的すすめ方
- (61) 生産現場改革の5力強化セミナー
- (62) 購買・外注担当者セミナー
- (63) 在庫管理の実務と最適化の着眼点
- (64) ヒューマンエラー防止対策セミナー
- (65) 60の他社事例に学ぶ人為ミス対策の進め方と成功ポイント
- (66) 少ない予算でもできる製造現場の異物混入防止策
- (67) 「本物の5S」と「見える化」による現場改革・改善の実践展開法
- (68) 満足できる工場レイアウト検討の基本と構想の進め方
- (69) 工場管理者のためのマネジメント力向上セミナー（新規）  
安全やQCD、設備保全、人材育成、社内他部門との連携強化など、  
工場管理者として求められる役割について解説する。

3. IE研究事業

- (1) 全国IE年次大会（横浜市）
- (2) 九州IE年次大会
- (3) IE基礎セミナー他、関連セミナー
- (4) 工場見学研修会
- (5) モノづくり講演会
- (6) 機関誌（IEレビュー）発行

## V. 研究調査事業 [公益目的事業4-1]

九州企業の経営課題調査を継続実施し、調査結果を公表するとともに、機関誌やホームページを通して会員をはじめ広く一般の参考に供する。

また、国際交流事業として実施している海外視察研修団の実施報告書を、ホームページを通して会員をはじめ広く一般の参考に供する。

## VI. 組織活動事業 [公益目的事業4-2]

### 1. 組織活動

#### (1) 賛助会員の安定・拡大

賛助会員との日常の連絡に努めるとともに、会員サービス事業をはじめ本部事業への会員の参加率の向上に努めて、会員の安定化と新規拡大に努力する。

#### (2) 広報活動

① 生産性新聞（月3回発行）

② 九州生産性ニュース「創造のひろば」（年4回発行）

③ 九州生産性資料（活用労働統計、実態調査報告書など発行）

(3) 九州見聞フォーラム（企業・施設見学会）

(4) ビジネス・トレンドフォーラム（時代のトレンド問題についての情報提供）

### 2. 普及活動

#### (1) 九州経営品質協議会

日本生産性本部・経営品質協議会が提唱する「経営品質向上プログラム」を九州地区において普及推進する組織として、平成14年度に設置した「九州経営品質協議会」の幹事会・企画運営委員会の方針のもと、企業の経営品質向上活動を支援する。

- ① 幹事会、企画運営委員会
- ② 顧客価値経営報告会（日本経営品質賞受賞企業講演会）
- ③ 顧客価値経営研究会
- ④ アセスメント活動実践研究会
- ⑤ ベストプラクティス企業視察研究会
- ⑥ 各企業における経営品質向上活動の支援
- ⑦ 経営品質関係の資料・情報の提供

## VII. 企業内教育事業〔収益事業〕

### 1. 企業内教育および経営コンサルティング

経営コンサルティングでは、明確な成果につなげるために、企業との徹底した事前のヒヤリングや現地診断を通じて現状の問題点の整理と根本的な課題を発見し、経営革新・生産性向上へのプログラム構築から、運用、フォローまで一貫して支援する。

企業内教育では、より実践的で成果のあるものにするために、企業ニーズに応じたオリジナルの研修プログラムを提案し、最適な講師派遣を通して、企業の人材育成を支援する。

- (1) 経営コンサルティング
- (2) 企業内研修プログラムの提案、受託
- (3) 各種講演会、研修会への講師派遣

## VIII. その他

生産性大学事業のWEB申込をはじめ事業事務システムの改善をさらに進めて、会員の利便性向上と事務作業の一層の効率化を図りたい。